

機械器具 16 体温計
管理医療機器 電子体温計 14032010

電子体温計 MT850

【警告】

- ・電池はお子様の手が届かないところにおいてください。
[誤飲やけがの恐れがある]
- ・お子様だけでご使用にならないでください。
[けがの恐れがある]
- ・本体（測温部を含む）をかまないでください。
[誤作動や故障の原因になる]

【禁忌・禁止】

- ・人以外の検温には使用しないでください。
- ・測定結果の自己判断や治療は危険ですので、医師の診断に従ってください。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本品は、本体、CR1632 ボタン電池、収納ケースから構成される。

2. 外観及び各部の名称



※体に直接接する部分の材質：ステンレス、TPR

3. 原理

- (1) 基準抵抗器と、測温発振回路コンデンサによる充放電発振を行い、あらかじめ設定された充放電回数に達する時間を計測します。
- (2) 続けて、サーミスタと、測温発振回路コンデンサによる充放電発振を行い、(1) で求めた時間における充放電回数をカウントします。((1) ~ (2) の動作を周波数比較方式と称します)
- (3) カウンタにて、最高カウント値と (2) で求めたカウント値との比較を行い、数値の大きい方のカウント値を最高カウント値とします。(スタート時の最高カウント値は“0”にリセットされます)
- (4) 最高カウント値を演算処理し、温度を算出します。
- (5) (4) で求めた温度値を表示部に表示します。
- (6) 制御回路の指示に従い、(1) ~ (5) の動作を繰り返します。

4. 仕様

項目	仕様
種類	電子体温計 予測式 一般用 測温部一体形 一部防浸形
体温測定範囲	32.0~42.0℃
精度	±0.1℃
最小表示単位	0.1℃
使用環境	周囲温度：10~40℃ 相対湿度：30~85%RH（結露なきこと）
保管条件	周囲温度：-25~+60℃ 相対湿度：30~95%RH（結露なきこと）
定格電圧	DC 3V (コイン形リチウム電池 CR1632 1個)
防水性能	JIS T1140 による（一部防浸形）
オートパワーオフ	約 3 分
本体寸法	約 141×約 24.5×約 15 (mm)
本体重量	約 22g（電池含む）

5. 安全装置

本品には、次のコード表示機能があります。

コード表示	意味
	電池が消耗すると表示されます。 新しい電池に交換してください。
	センサー回路の断線などでシステムに異常があった場合に表示されます。
	検温値が 42.0℃を超えると、ブザー（連続 10 回）とともに表示されます。
	測定中の周囲温度が 40℃以上の場合、ブザー（連続 10 回）とともに表示されます。
	測定中の周囲温度が 10℃以下の場合、ブザー（連続 10 回）とともに表示されます。

6. 機器の分類

電撃に対する保護の形式による分類：内部電源機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：BF 形装着部
水又は粒子物質の有害な浸入に対する保護等級：IP67

本製品には取扱説明書がありますので、必ず確認してください。

7. 電磁両立性規格（EMC）

- * 本品は IEC60601-1-2 に適合しています。

【使用目的又は効果】

測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示すること。

【使用方法等】

＜使用方法＞

- （１）電源ボタンを押して電源を入れます。
- （２）“ピッ”とブザーが鳴り、全点灯表示に続き、前回の検温値が表示されます。その後、“L”表示とともに単位マーク“℃”が点滅して、測定可能な状態になります。
- （３）測温部を脇下に密着させて安静にします。
- （４）**予測検温の場合：**
検温開始後、約 20 秒で予測検温終了のブザー（“ピー”と連続 5 回）が鳴りますので、予測検温を確認し、電源ボタンを押して電源を切ります。電源ボタンを押さない場合は、検温終了から約 3 分後に自動で電源が切れます。
- （５）**実測検温の場合：**
 - ①実測検温を行う場合は、予測検温終了のブザーが鳴っても体温計を測定部位から出さず、そのまま検温を継続します。検温開始から約 3 分で“ピッ”とブザーが鳴り、実測表示に切り替わります。
 - ②その後もそのまま検温を継続すると、検温開始から約 10 分経過後に、実測検温終了のブザー（“ピー”と連続 5 回）が鳴りますので、その時点の実測検温値を確認します。
- （６）検温終了後は、電源ボタンを押して電源を切ります。電源ボタンを押さない場合は、検温終了から約 3 分後に自動で電源が切れます。

※使用方法等の詳細については、取扱説明書をよくお読みください。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・ 破損したものは使用しないでください。[けがの恐れがある]
- ・ 本体に激しい衝撃などを与えないでください。
[故障の原因になる]
- ・ 分解・修理・改造は行わないでください。[故障の原因になる]
- ・ 超音波洗浄はしないでください。[故障の原因になる]
- ・ 水中に放置したり水道からの流水に直接当てないでください。

＜使用方法などにおける注意事項＞

- ・ わき以外で検温しないでください。
- ・ 周囲温度が 32℃以上の場合、測温部を水で冷やしてから測定し、周囲温度の影響を受ける前に素早く表示をお読みください。[測定値の異常の原因になる]
- ・ 飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに測定せずに 30 分ほど待ってから測定してください。[測定値が高く出ることがある]
- ・ 連続して検温しないでください。続けて検温する場合は一旦電源を切り、最初から測り直してください。

＜併用医療機器などにおける注意事項＞

- ・ 電子レンジや携帯電話など、強い静電気や電磁波を発生するものに近づけないでください。[故障の原因になる]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

下記条件にて保管してください。

周囲温度：-25℃～+60℃、相対湿度：30%～95%RH（結露なきこと）

2. ご使用後は収納ケースに入れて保管してください。
3. 長期間ご使用にならない場合は、電池を取り外して保管してください。
4. 耐用期間
標準的な使用期間：3 年 [自己認証（当社データ）による]

【取扱い上の注意】

- ・ 使用方法、周囲の温度などにより、測定精度に影響を及ぼす場合があります。
- ・ 取扱説明書に記載した以外の使用方法及び製造販売業者以外が修理や改造、再調整などを行わないでください。これらに起因する損害などについて、弊社は責任を負いません。

【保守・点検に係る事項】

＜クリーニング方法＞

- ・ 測温部を消毒する場合には、消毒用アルコールを含ませたガーゼなどで軽く拭いてください。
- ・ 表示部及びその周辺は、消毒用アルコールを含ませたガーゼなどで拭かないでください。
- ・ 水洗いを行う場合は、洗面器等に貯めた水に体温計を浸してから汚れを拭き取るようにし、30 分以上の浸漬を行わないでください。
- ・ 体温計の測温部を長時間アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超えるお湯）で消毒しないでください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

アズワン株式会社

TEL：0120-711-875

- * 受付時間：平日午前 9：00～12：00、午後 1：00～5：30
（土日祝・弊社休業日は除く）

製造業者 Onbo Electronic (Shenzhen) Co., Ltd

オンボエレクトロニクス社

製造国名 中国